

これだけは覚えよう！重要ポイント

証明の流れ

対応確認 → 条件確認 → 相似

最頻出条件

2組の角がそれぞれ等しい (AA)

結論

 $\triangle ABC \sim \triangle DEF$

Q. 相似の証明のコツは？ AA相似 (2角相等) を使うことが最も多い。対頂角や共通角を活用。

① 対応の確認

最初に

どの頂点とどの頂点が対応するか確認。記号の順番で対応を表す。

$$\triangle ABC \sim \triangle DEF \quad (A \leftrightarrow D, B \leftrightarrow E, C \leftrightarrow F)$$

② 等しい角を探す

核心

共通角、対頂角、平行線による錯角・同位角から等しい角を2つ見つける。

$$\angle A = \angle D, \angle B = \angle E$$

③ 相似条件を述べる

まとめ

「2組の角がそれぞれ等しいので」と相似条件を書く。

2組の角がそれぞれ等しいので

④ 結論を書く

最後

「 $\triangle ABC \sim \triangle DEF$ 」と対応順で相似を主張する。

$$\therefore \triangle ABC \sim \triangle DEF$$

💡 ミス回避のコツ

⚠️ 対応の順番を間違える

✖

$$\triangle ABC \sim \triangle EDF$$

○

$$\triangle ABC \sim \triangle DEF \quad (\text{対応順})$$

対応する頂点は同じ順番で書く。間違うと×。

⚠️ 根拠を省略する

✖

図より等しいので

○

$$\text{対頂角は等しいので } \angle AOB = \angle COD$$

なぜ等しいか根拠を必ず書く。

最終確認チェックリスト

- 相似の証明の手順を理解したか？
- AA相似を使うときの角の探し方を覚えたか？
- 対応の順番を正しく書けるか？

